

平成25年度 事業計画について

1. 基本方針

一般社団法人移行初年度となる平成25年度は、公益目的支出計画の着実な実施をはじめとした、法人運営の更なる効率化を進めていくとともに、本センター事業の中核となる地域情報化推進事業に関しても、より効果的な展開に努めていきます。併せて、会員サービスの充実、並びに会員の方々との連携強化等を一層図り、新法人体制下での安定した組織運営の実現を目指した事業活動をスタートさせます。

2. 公益目的支出計画事業

一般社団法人移行時に保有する正味財産は公益目的財産として位置づけられ、当該財産額に相当する公益目的事業を平成25年度以降、公益目的支出計画事業として実施していくことが義務付けられています。本事業の内容については、平成24年度通常総会でご承認いただいたとおり、以下の3つの事業を対象として実施していくこととなります。

(1) 人材育成事業（自治体職員研修事業を対象）

(2) 普及啓発事業（地域情報化セミナー、九州ICT広域連携シンポジウムを対象）

各事業の詳細については、後述をご参照ください。

3. 調査研究事業

(1) 九州地域ICT利活用調査研究会

① 新規実施地域の選定

平成25年3月11日（月）に開催された平成24年度第2回企画検討部会で協議した結果、平成25年度より宮崎県児湯郡西米良村において調査研究活動に取り組むことが決まりました。

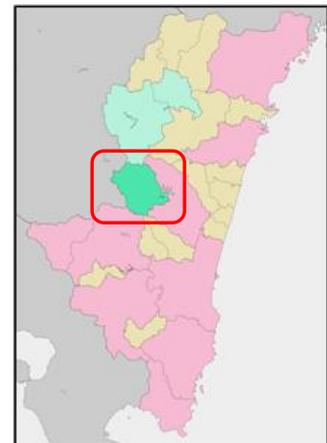
（宮崎県児湯郡西米良村）

人 口：1,260人（H25.3.1 HP公表値）

世 帯：603世帯（H25.3.1 HP公表値）

高齢化率：41.75%（H25.3.1 HP公表値）

※平成24年度町内全域に渡る光ファイバー
整備事業が終了（公設公営）



② 継続実施地域における活動

・湯前町

町のイベントである漫画フェスタや潮おっばい祭りでの情報発信支援や、インターネット相談会を継続し、町民の情報発信力向上や、情報発信コミュニティの形成に取り組めます。中でも、マンガオンライン塾や風刺漫画大賞応募作品の Web 公開等、湯前町における漫画を基本としたまちづくり施策、及び温泉施設湯楽里のピンクリボン運動への取組との ICT の連携、さらには湯前町が取り組む「6次産業化推進」に関連した地域資源発信事業等に注力していきます。なお、これらの取組のなかで、地域と学校が連携し、一体となった教育環境の構築を ICT 利活用の側面から支援します。

また、湯前町商工会が取り組む“地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト”についても昨年度同様、情報発信の観点からの支援を行います。

【活動計画】

I. 情報発信力向上、情報発信コミュニティ形成

(i) ゆのまえ潮おっばい祭り情報発信支援（4月28日～29日）

・（仮称）日本おっばいの絆サミット開催支援（28日）

昨年度に引き続き、祭りを側面から支援（パブリック要素を組込み）します。湯前町役場、商工会、湯楽里からも参画頂きます。

・会場 Wi-Fi 環境構築、Ustream ライブ配信支援（29日）

湯楽里からの要請もあり、会場一帯の Wi-Fi 化を支援します。

町の有志の手で Ustream 配信を実施。

・サイト構築及び Facebook 利活用支援

昨年度構築した Facebook ページの更なる利活用と、全国のおっばい関連の情報を集めたサイト構築を支援します。

(ii) ピンクリボン運動の推進支援

・湯楽里のピンクリボン運動の情報発信支援（Facebook 利活用）

・昨年度同様におっばいリレーの Ustream 配信を支援

(iii) 風刺漫画大賞応募作品の Web 掲載ほか

・風刺漫画大賞応募作品を Web に掲載

・Web 投票による大賞の賞を新設（提案）

(iv) まんがフェスタの Ustream ライブ配信支援（11月）

(v) インターネット体験・相談会（1回/月）

(vi) 町内関連サイトの統合支援（提案）

上記関連のサイトを含めた、町関連サイトの一元管理等により効率化を図ります。

II. 町と学校が一体となった学校教育の展開

(i) オンラインマンガ教室技術支援

昨年度と同様に中学2年生を対象とし、京都精華大学とのオンラインマンガ教室を開催します。

また、作成した風刺漫画で風刺漫画大賞に応募します。(提案)

(ii) M I E (Manga in Education = 「エム・アイ・イー」) 推進 (提案)

地域一体となった学校教育を図るため、授業に風刺漫画を取り込むことを提案します。

(iii) 学校教育へのピンクリボン運動の展開 (提案)

ピンクリボン運動の町への浸透を図るため、小学校6年生が卒業時に赤白帽で、ピンクリんごタッチを作成することを提案します。

(iv) 学校教育(食育)と婦人会との連携(受託)

町が主導する6次産業化推進活動のひとつとして、町の特産物である市房漬けを生産している下村婦人会と学校による食育の取り組みに参画します。

III. 町の地域振興に関する取組の支援

(i) 6次産業化推進事業

- ・健康レシピサイト改修支援
- ・農商工連携ワークショップ

(ii) 湯前町C I O事業

湯前町のC I O機能を担う事業を受託し、行政サービスへのI C T利活用について、アドバイス等を行います。なお、この湯前町C I O事業を軸に球磨人吉地方の他の9市町村に対して、ローコスト・ハイリターンのC I O機能をシェアする仕組みを提案します。

- ・定例打合せ(1回/月)
- ・先進事例視察(1回)

(iii) 地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト支援

湯前町商工会の取組をI C T利活用の観点から支援します。

・添田町

引き続き意見交換会(タウンミーティング)等を幅広く実施していくとともに、平成24年度に実施したアンケート結果の詳細分析も進め、これらの結果を今後の添田町における様々な活動に対して活かしていきます。併せて、町民を巻き込んだ添田町地域コンテンツの積極的な配信企画、I C Tリテラシー向上施策への取り組み等といった調査研究会事業の本格的展開を進めていきます。

(2) 九州地域ホワイトスペース利活用検討研究会

ホワイトスペースに関する技術動向、施策動向等に関する情報提供・情報交換を行う研究会を継続して実施していくとともに、啓発シンポジウム等の実施も検討していきます。

4. 人材育成事業

(1) 自治体職員研修〔公益目的支出計画対象事業〕

地方自治体の職員及び企業の自治体担当者等を対象に、ICT利活用推進をメインテーマに、基調講演、導入事例の紹介並びにそれらに関する情報通信関連技術の動向等について、会場参加者を交えての幅広い意見交換を通じたワークショップ型の研修会を開催します。

日 時：未定

場 所：未定

その他：研修会模様のネットワーク配信計画も予定

(2) 九州ICTオープンスクール

九州各県の大学より学生が参加し、地域情報化に関する様々な現状等を基本テーマとした課題について、実際に現地にて検討を進めていく研修会を開催します。

日 時：未定

場 所：未定

5. 普及啓発事業

(1) 平成25年度情報通信月間での取り組み

① 非常通信セミナー（共 催）

防災関係機関、地方公共団体等の職員等に対して、非常時の情報伝達手段のあり方等について、より一層の理解を深める講演会を開催します。

日 時：未定

会 場：未定

② わいわいkid's 2013（共 催）

～ “光” プロードバンドを活用した遠隔コミュニケーション ～

多地点の会場を超高速プロードバンド回線で結び、小学生によるITを活用した遠隔コミュニケーションを行うことにより情報発信の楽しさを体感してもらう遠隔交流授業を実施します。

日 時：未定

会 場：未定（熊本市他）

③ 九州地区SCOPE研究発表会（共 催）

SCOPEの平成24年度における地域ICT振興型研究開発課題の研究内容の発表（継続・終了）及び研究者や各地域のICT関係者の情報提供・意見交換を行う発表会を開催します。

日 時：未定

会 場：福岡市（予定）

④ 九州地域ICT利活用調査研究会実施地域における普及啓発事業

・USTREAM活用によるローカルメディア発信（共 催）

湯前町商工会会員向けに、全国のUSTREAM活用事例の紹介や、地方におけるメディアの利活用について講演を行い、実際にUSTREAMを利用して情報発信を体験するセミナーを開催する。

日 時：平成25年6月

会 場：湯前町商工会館及び湯前町まんが美術館パソコン教室

・ICT利活用推進イベント（共 催）

平成25年度新規実施地域である西米良村の光インターネットサービス開始に合わせて、ICT利活用イベントを開催します。

日 時：平成25年6月

会 場：宮崎県児湯郡西米良村

(2) その他の普及啓発事業

① 平成25年度通常総会

日 時：平成25年4月19日（金）13：00～17：30

場 所：KKRホテル熊本

内 容：記念講演1：

総務省 総合通信基盤局 電波部長 武井 俊幸 氏

記念講演2：

九州工業大学 理事・副学長 尾家 祐二 氏

② 九州受信環境クリーン協議会 平成25年度委員会・表彰式

日 時：平成25年5月22日（水）14：30～17：00

場 所：KKRホテル熊本

主 催：九州受信環境クリーン協議会

・平成25年度委員会

・平成25年度表彰式

内 容：記念講演

③ デジタル防災無線活用セミナー（仮称）

東日本大震災を教訓に、災害に強く、低廉で導入容易な MCA 防災無線、新戸別受信システムなどについて講演、関連機器展示を行います。

日 時：未定

場 所：未定

主 催：（財）移動無線センター 九州センター

④ 九州・国際テクノフェア2013

日 時：未定

場 所：未定

主 催：九州テクノフェア実行委員会（センター参加）

⑤ 地域情報化セミナー2013 [公益目的支出計画対象事業]

日 時：未定

場 所：未定

主 催：総務省 九州総合通信局、農林水産省 九州農政局、

経済産業省 九州経済産業局、（一社）九州テレコム振興センター（K I A I）

⑥ 九州ICT広域連携シンポジウム [公益目的支出計画対象事業]

日 時：未定

場 所：未定

主 催：（一社）九州テレコム振興センター（K I A I）

⑦ 九州地域情報化シンポジウム

日 時：平成26年1月下旬

場 所：宮崎県児湯郡西米良村

主 催：（一社）九州テレコム振興センター（K I A I）

6 会報等情報発信の充実・改善

(1) 会員サービスの充実

会員サービス向上、ペーパーレス促進、経費節減の観点から、従来より紙媒体で発行してきた会報誌「テレコム九州」を、平成 25 年度より下記のようにリニューアルします。

① 新会報誌名称

会員向け Web マガジン「Key-Eye」

※「Key-Eye」：これからの九州の情報化促進に際してのひとつの「鍵 (Key)」あるいは新たな「視点 (Eye)」となるような話題をご提供していこうとする思いを込め、「Key-Eye」というネーミングを採用いたしました。

② 構成

- Key-Eye ある人

ICT 分野で活躍されている九州の様々な産学官関係者の熱い思いを掲載
→「人（産学官関係者から幅広く）」を対象

- Key-Eye あるまちづくり

九州での ICT を活用した様々な地域づくりについて掲載
→「自治体、NPO、各種団体等」を対象

- Key-Eye あるネットワーク

K I A I 会員から、各会員の事業紹介と、今後の K I A I もしくは九州の地域情報化に期待する思いを掲載
→「会員」を対象

- 主要活動報告（直近の K I A I 活動報告を掲載）
- ICT 関連データ（総務省等における ICT 関連データを掲載）
- 編集後記（K I A I スタッフからのショートコラム）

③ 発行方法

各会員に対して、ID/パスワードを配布し、会員のみが閲覧可能とします。

(2) ホームページのリニューアル

会報誌の Web 化と併せ、平成 25 年度よりホームページの充実に向けたリニューアルを行います。

7 その他

当センターの各事業を、より効果的に実施していくため、九州地域及びセンター会員の情報化に関する意見・要望の把握について積極的に進めていきます。